

金太郎夜市・窪川まつり花火大会

7月15・22・29日に「金太郎夜市」、8月13日に「窪川まつり花火大会」が開催されました。

金太郎夜市は窪川地域の商店街で7月から8月の金曜日に開催される夜市（夏祭り）で、高知県で一番歴史のある夜市です。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年は中止、翌21年は緑林公園での特別イベントとしての開催となっており、本来の商店街での開催は3年ぶりとなります。

元々この夜市は、約50年前の商工会青年部が愛媛で行われていた夜市を視察し、それを地元で開催しようと企画したのが始まり。以来、四万十町の商工会青年部が企画・運営する窪川地域の夏の風物詩となっています。



WITH コロナ

2019年に新型コロナウイルス感染症が初めて確認されてから、世界中で様々なイベントが中止・延期となりました。2022年、まだまだ終息の兆しは見ていませんが、「ウィズコロナ」の考えが生まれ、日本各地でイベントが復活しています。今回は、四万十町で3年ぶりの開催となったイベントをご紹介します。

あの夏の元気をもう一度



子供たちの思い出に残るように夜市をもっと盛り上げたいと考えていた青年部は、数年前から夜市の中で新しい催しを行うように。

そして第52回目となる今年の夜市は、7月15日には餅投げと地域事業者の出店ブース設置、22日にはJA民謡クラブとの盆踊り大会・四万夢多の演舞、29日は巨大お化け屋敷などを企画。8月13日に行われた花火大会では、約500発の花火が打ち上げられ、夏祭りは盛況のうちに終わることができました。

開催については最後まで悩み、一時は青年部でも中止の方向に動いたといいます。しかし、地域のみなさまからの多数の応援により予定していた日程で全て開催することができました。改めて商店街や地域の心意気に触れることができました。



7月31日に四万十町大正にある熊野神社で3年ぶりに「神ジャズ」が開催されました。

このイベントは、熊野神社の大祭である「宵祭り」に併せて地域を盛り上げようと、地域おこし協力隊により2017年から始まった企画です。「神社」と「ジャズ」を掛け合わせて神社の境内でジャズなどを演奏してもらいます。



第4回目となる今回は、上山神楽太鼓保存会による太鼓や鯛釣りの舞いを皮切りに、四万十町在住シンガーソングライターの「narumi」さん、プロサックス奏者の「山地高」さん、そして大正中学校と四万十高校生合同のビッグバンド、「フェアリーピット・ジャズ・オーケストラ」が演奏を行いました。

大正地域で活動している「大正浪漫実行委員会」の協力により、多くの演奏者に浴衣が着付けられ、夏らしい華やかさを演出しました。音楽の力で演奏者と観客が一体となった1日でした。

神JAZZ